

Topics あの議論は どうなった？

高梁市図書館が開館され一年が過ぎました。新図書館は開館場所や指定管理の委託問題など、一定方向が出るまでも約10年をかけて論議され結論が出されたものです。

駅前の複合施設の入り口（2階）には「高梁市図書館」とあります。入れば左手は観光案内と地元の特産物（お土産）の販売コーナー、右手には駅待合として活用できるスターバックス（カフェ）があり、その奥に蔦屋書店が大きく構えています。図書館スペースは2階一部と、3階に一般図書と学習室、4階は児童図書と多目的室が整備されテラスも完備されています。複合施設は開館から1年間で66万人の来館者を迎え、図書の貸出冊数は20万冊と旧図書館から3倍以上に増えました。

また移動図書は、旧図書館運営時よりも運行日を月1回から週2回に、利用場所も23カ所から30カ所に、本の入れ替えも年4回から毎月となりました。移動図書の利用者や貸出冊数は約4倍に増

加し喜ばれています。あわせて移動図書車では日用品や生活雑貨等も販売し、利用者のリクエストにもできるだけ応えるよう運営されています。

利用者アンケートの結果では、年中無休で開館時間が長いことや、館内の居心地の良さ、スタッフの対応について、ほぼ8割以上の方が満足しているとの回答がありました。

これに対して、新刊や話題図書を充実してほしい。おすすめてや新刊コーナーがわかりにくい。静かに本が読めないときがある。トイレの増設。駐車場がわかりにくい。周辺駐車場の利用料金が統一されていない。障害者用駐車場からのアプローチに屋根がない。指定管理料が旧図書館運営経費に比べて4倍以上かかっている、などの改善点等が指摘されています。

今後、議会としても市民や利用者のご意見に耳を傾け、より良い図書館にしていかなければいけません。なお、旧図書館は（仮称）山田山谷記念館にリニューアルされる予定です。



編集後記

議会では本会議・各委員会において、執行部との活発な質疑が行われています。議会広報公聴特別委員会は、これらの情報を市民の皆様にはわかりやすくお伝えするよう「高梁市議会だより」の作成に取り組んでいます。また年2回（16カ所）で行う高梁市議会報告会の資料づくり、広報活動も、この委員会で行っています。この2月に議会報告会の先進地として大分県の由布市と大分市を研修視察で訪れました。その成果が少しでもあらわれればと、委員の皆が思っています。議会報告会についても皆様の、ご意見、ご要望などお聞かせくださるようお願いいたします。

新緑の美しい季節となりました。忙しい毎日、一時でも山を見て心癒されますように。

（森 和之）

編集

委員長	宮田好夫
副委員長	石田芳生
委員	石部 誠
委員	石井 聡美
委員	森上昌生
委員	森 和之
委員	伊藤泰樹

議会広報公聴特別委員会